



地域で子どもたちが遊ぶ姿が見られなくなって久しい。少子化により親や家族の愛情を一身に受け、小さい頃からの習い事、学習塾通い、スポーツ少年団への加入など、遊びたくても近所に遊び仲間のないのが実情です。

昔は子どもの数も多く、遊びを通して自然の中で、また、地域の中で人との関わり、ルール、心の痛みといったものを知らず知らずのうちに学んできましたが、少子化が進み、物質的に豊かな現代の生活において、自然の中で戯れ智恵を巡らし遊ぶ姿はほとんど見られなくなってきました。

また、近年は誘拐、殺傷事件など子どもたちに関わる凶悪犯罪が増加し、安心して子どもを遊ばせられる安全が脅かされています。身近な地域においても不審者の出没、殺人や誘拐をほのめかす物騒な電話などにより、学校や家庭では送迎やパトロールといった安全対策に細心の注意を払っています。

こうした時代だからこそ、今や私たち大人に課せられた期待

と責任は大きく、地域ぐるみで積極的に子どもたちに関わり、守り、育てていくことに取り組んでいかなければならないように思えます。

近年、都留市内で「まちづくり運動」が推進されています。担当者のご苦労には頭が下がります。

秋の文化祭の時のことです。大人やお年寄りに交えて子どもたちの出演がありました。目を輝かせて一生懸命歌う小学生や躍動感いっぱいソーラン節を踊り太鼓を演奏する中学生のひたむきな姿に感動を覚えました。もちろんこの陰には教師や大人の指導や援助があると思われませんが、地域行事に意欲的に参加し、一生懸命発表する子どもたちの姿を見て、こうした取り組みの大切さ、必要性を強く感じました。

改めて地域を見つめてみると、各地で育成会活動や運動会などの行事がまだまだ盛んに行われています。また、まちづくり運動やボランティア活動、子どもの体験学習など新しい動きも活発化してきました。こうした取り組みが学校のみでなく、地域ごと計画され展開されると、子どもを含めた地域のコミュニケーションが深まっていきたいと思います。

しかし、現代では近所の子どもですら名前や年齢などを知らない状況があります。まずは挨拶や声をかけあうことから地域運動として始めたいものです。やがて、お

年寄りが指導者になって昔の遊びや遊具づくりを教えたり、子どもが指導者でパソコンを通じてお年寄りと交流を深めたり、時には一緒に絵や書道に親しんだり、工夫により様々な交流が可能であると思います。

文部科学省は「子どもの居場所づくり新プラン」を定め、地域と家庭と学校が一体となって子どもたちを育んでいくことを提起しています。

本市においても、平成16年度から東桂地区をモデル地区として「子どもの居場所づくり」事業に取り組んでいきます。学校教育と社会教育が互いに連携し安全かつ安心して活動できる子どもの居場所を設け、社会全体で心豊かで健全な子どもを育てていこうというものです。

とかく隣近所に無関心で地域内での交流の機会も少なくなっている現代、大切なことは、同じ地域の住人として大人や子どもが互いに交流を深め、密接なつながりをもつことです。地域に住む者が互いに知り合い、関わりあうことで親近感や信頼感が生まれ、やがて郷土を誇りに思い大切にし、大人にとっても子どもにとっても安心して生活できる居場所づくりとなると思います。そして、そのことがとりもなおさず犯罪を防止し、子どもを守り地域を発展させるものになると思います。

## 平成16年度手話奉仕員養成講習会(入門・基礎課程)

聴覚障害者のよき理解者として広く奉仕活動を実践するボランティアを育成し、障害があっても不自由を感じることなく安心して生活できる福祉コミュニティづくりを目的として手話奉仕員養成講習会を開催します。

はじめて手話を学ぶ方々が、基礎から手話通訳の入門まで系統的に学習していただけるよう、手話通訳士をはじめ専門家がわかりやすく指導します。

日時 5月21日(金)～平成17年3月25日(金)  
毎週金曜日 午後7時～9時

場所 いきいきプラザ都留

対象 手話に関心があり全課程に参加可能な方

定員 30名

参加料 無料

主催 都留市社会福祉協議会

申込締切 5月18日(火)

申込・問合せ 都留市社会福祉協議会 ☎(46)5115 担当森嶋

### 入門課程日程

回数	月 日	講習内容	回数	月 日	講習内容
1	5月21日	開講式 講義 手話の基礎知識1	11	7月30日	講義聴覚障害者の基礎知識 話かけてみましょう1
2	5月28日	つたえあってみましょう1	12~14	8月6・20・27日	話かけてみましょう2~5
3	6月 4日	つたえあってみましょう2 講義 聴覚障害者の生活	15~17	9月3・10・17日	話し合ってみましょう1~4
4~10	6月11・18・25日 7月2・9・16・23日	自己紹介をしましょう1~7	18	9月24日	あらわしてみましょう1~2